

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2202132	リサーチリテラシー演習 Seminar of Research Literacy	西原 麻里	専門	2	選択	2年 後期

**科目の概要**

この授業は、「リサーチリテラシー」(2年生前期)で学んだ内容を踏まえて、大学生の学びにおいて必須である調査研究を実践的に進めていくゼミ形式の演習科目である。研究テーマを設定し、それを深めるための質的調査やレポート作成をつうじてリサーチリテラシーの基礎的能力をさらにレベルアップさせ、受講者自身が調査・分析・考察を自主的におこなえるようになることを目的とする。また、課題にたいして論理的に考察するための方法を身につけることも主眼とする。

学修内容	到達目標
① リサーチ＝調査研究の能力を実践的に発揮する。 ② インタビューなどの質的調査をつうじて、深い情報や考察の材料を手に入れるための方法を学ぶ。 ③ 有効かつ適切な資料を収集・読解する。	① 自主的に研究活動を進めることができるようになる。 ② 課題を考察するための情報を手に入れることができるようになる。 ③ 論理的な議論を展開するための資料を収集・読解できるようになる。

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**

**学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	自発的・積極的に調査研究を進める。 文献資料や情報を自分で探索・収集する。
	働きかけ力	
	実行力	授業内の課題について、複数の文献を用いて調べる。
考え抜く力	課題発見力	主観的な興味レベルから客観的で学問として有効な課題へと「問い」を発展させる。 予習・復習では積極的に文献で調べて考察する。
	計画力	
	創造力	授業内の課題について、学んだテクニックやメソッドを活かして課題に取り組む。
チームで働く力	発信力	授業中になげかけられる質問に答える。 相手をおそれずに、疑問に思ったことや建設的な意見を発信する。
	傾聴力	一つの見方に固執せず、複数の意見を聞く。 不明なところはかならず、教員や他の学生などの協力を仰ぎ解決する。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	復習レポートを期日内に提出する。 予習・復習と授業におけるルールを守る。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト: 西山敏樹・鈴木亮子・大西幸周著『アカデミック・スキルズ データ収集・分析入門——社会を効果的に読み解く技法』慶應義塾大学出版会、2015年

その他、授業内で適宜指示するほか、資料を配布・提示する。

**他科目との関連、資格との関連**

「リサーチリテラシー」(2年生前期)。

この授業で学んだ社会調査の方法を、「生活スタジオ」や「卒業研究」、その他の授業で実践できることが望ましい。

学修上の助言	受講生とのルール
15週の授業のなかで順序立ててリサーチリテラシーを身につけるプログラムのため、やむを得ず欠席した場合はかならずその分の遅れを取り戻せるよう努力すること。 授業時間は集中し、板書以外に口頭で説明する内容もメモやノートにとること。 疑問点は放置せず、教員に質問したり文献で自習したりして解決すること。	授業中の私語、居眠り、勝手な途中退出、授業に関係のない電子機器類の使用を禁止する。また、学則で定められた遅刻2回で欠席1回とみなす。 授業内で提示する予習・復習の課題にかならず取り組むこと。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
小テスト	90	①	✓
		②	✓
		③	✓
レポート		①	
		②	
		③	
成果発表 (口頭・実技)		①	
		②	
		③	
作品		①	
		②	
		③	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓
		②	✓
		③	✓
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>S:リサーチリテラシーの基礎をすべて身につけ、主観ではなく批判的・論理的にデータにもとづいて研究活動を進めることができる。不明なところは教員や他の学生の協力を仰ぐことができる。自分で文献資料を探したり「問い」を設定したりすることができる。</p> <p>A:リサーチリテラシーの基礎をすべて身につけ、主観ではなく批判的・論理的にデータにもとづいて研究活動を進めることができる。</p>	<p>リサーチリテラシーの基礎の基礎(課題発見から情報整理まで)を身につけ、主観ではなく批判的・論理的にデータにもとづいて研究活動を進めることができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	イントロダクション 社会調査の方法を学ぶ	講義 質疑応答	授業の内容(板書・口頭での説明)をノートにとる。	(予習)前期「リサーチリテラシー」のノートを読み直す。 (復習)授業で提示した課題をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
2週 /	データ分析とは データ分析の定義や分析の心得などについて学ぶ	講義 質疑応答	授業の内容(板書・口頭での説明)をノートにとる。	(予習)テキスト第1章を読む。 (復習)授業内容をノートにまとめ、テキストを読み返す。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
3週 /	データの種類(1) 「定量データ」について学ぶ	講義 ワークショップ 質疑応答	授業の内容(板書・口頭での説明)をノートにとる。	(予習)テキスト第2章を読む。 (復習)授業内容をノートにまとめ、テキストを読み返す。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
4週 /	データの種類(2) 「定性データ」について学ぶ	講義 ワークショップ 質疑応答	授業の内容(板書・口頭での説明)をノートにとる。	(予習)テキスト第2章を読む。 (復習)授業内容をノートにまとめ、テキストを読み返す。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
5週 /	小テスト(1) 小テストを実施し、結果を振り返る	ワークショップ 小テスト 質疑応答	授業の内容(板書・口頭での説明)をノートにとる。 小テストに合格する。	(予習)小テストの勉強をする。 (復習)小テストの結果を踏まえ、データ分析の方法を見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
6週 /	社会調査をおこなう 研究テーマの立案と社会調査の計画を立てる方法を学ぶ	講義 ワークショップ 質疑応答	授業の内容(板書・口頭での説明)をノートにとる。	(予習)テキスト第3章を読む。 (復習)授業内容をノートにまとめ、テキストを読み返す。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
7週 /	定量調査 定量調査の研究例を学ぶ	講義 ワークショップ 質疑応答	授業の内容(板書・口頭での説明)をノートにとる。	(予習)テキスト第4章を読む。 (復習)授業内容をノートにまとめ、テキストを読み返す。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
8週 /	定量調査の実践:調査計画の立案 定量調査をおこなうための計画を立てる	ワークショップ 質疑応答	授業の内容(板書・口頭での説明)をノートにとる。 研究計画を立てる。	(予習)定量調査の方法や適切なテーマを調べる。 (復習)定量調査の方法をブラッシュアップする。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	定量調査の実践:調査計画のブラッシュアップ 定量調査の計画を実現可能なものにする	ワークショップ 質疑応答	授業の内容(板書・口頭での説明)をノートにとる。研究計画を立てる。	(予習)定量調査の方法を調べる。 (復習)定量調査を実践する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
10週 /	定量調査の実践:調査結果の報告 定量調査の結果を報告する(小テスト(2))	ワークショップ 小テスト 質疑応答	授業の内容(板書・口頭での説明)をノートにとる。調査結果を適切に報告する。	(予習)調査結果を報告できる形にまとめる。 (復習)調査結果(小テストの結果)を見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
11週 /	定性調査 定性調査の研究例を学ぶ	講義 ワークショップ 質疑応答	授業の内容(板書・口頭での説明)をノートにとる。	(予習)テキスト第5章を読む。 (復習)授業内容をノートにまとめ、テキストを読み返す。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
12週 /	定性調査の実践:調査計画の立案 定性調査をおこなうための計画を立てる	ワークショップ 質疑応答	授業の内容(板書・口頭での説明)をノートにとる。研究計画を立てる。	(予習)定性調査の方法や適切なテーマを調べる。 (復習)定性調査の方法をブラッシュアップする。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
13週 /	定性調査の実践:調査計画のブラッシュアップ 定性調査の計画を実現可能なものにする	ワークショップ 質疑応答	授業の内容(板書・口頭での説明)をノートにとる。研究計画を立てる。	(予習)定性調査の方法を調べる。 (復習)定性調査を実践する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
14週 /	定性調査の実践:調査結果の報告 定性調査の結果を報告する(小テスト(3))	ワークショップ 小テスト 質疑応答	授業の内容(板書・口頭での説明)をノートにとる。調査結果を適切に報告する。	(予習)調査結果を報告できる形にまとめる。 (復習)調査結果(小テストの結果)を見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性
15週 /	コンクルージョン これまで学んできた社会調査のメソッドを再確認する	講義 ディスカッション 質疑応答	授業内でのディスカッションに参加し、授業の内容をノートにとる。 小テストに合格する。	(予習)社会調査の方法を見直す。 (復習)これまでの授業のノートやテキストを読み返す。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 創造力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力